

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009年4月23~24日	平成20年8月、仙台市においてリケッチア症を疑う患者が発生した。生検材料を用いたPCRにより陽性であったが、シーケンス解析により、ロシアや中国の患者から報告されている R.heilomgiangensisに一致した。国内に、日本紅斑熱とは異なる紅斑熱ケッチア症が存在することが示された。
												ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360: 2099-2107	New Yorkの62歳の男性は、シカダニウイルスに感染したシカダニの咬傷後に髄膜脳炎で死亡した。これまでシカダニウイルスのヒト感染は報告されていないが、この症例はシカダニウイルスが致命的脳炎の原因でありえることを示している。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Health Protection Agency 2009/05/22	2004年にHealth Protection Agencyは扁桃腺に蓄積されたvCJD関連プリオンタンパク質の大規模な調査により、無症候性vCJD保有率を検討するNational Anonymous Tissue Archive(NATA)を開始。既に63000例の扁桃腺組織の収集・解析を行っており、100000例まで収集する計画であるが、現在のところ陽性サンプルは一つもなかった。
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMRW 2009; 58: 521-524	05~06年、06~07年、07~08年の季節性インフルエンザワクチン接種コホートの保存ベア血清を用いて、新型インフルエンザウイルスの交差反応性を検討した。18-64歳ではワクチン接種前に6~9%、60歳以上では33%が交差反応を示した。ワクチン接種後には交差反応を示した例が18-64歳で2倍程度に増え、60歳以上では全く増えなかった。
444	2009/7/28	90313	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	A型ボツリヌス毒素	A型ボツリヌス菌 (Clostridium botulinum)	米国	有効成分	無	無	無			
445	2009/7/28	90314	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	WHO 2009年6月11日	2009年6月11日、WHOは現在の新型インフルエンザのAlertをフェーズ6に引き上げた。
446	2009/7/28	90315	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	ウシ(心臓、血液、乳、骨格筋、脾臓)	ウシ(心臓、血液、乳、骨格筋、脾臓)	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正措置	感染症(PT)	出典	概要
447	2009/7/28	90316	グラクソスミスクライン	A型ボツリヌス毒素	ヒツジ(血液)	ヒツジ(血液)	米国	製造工程	無	無	無			
448	2009/7/28	90317	日本メジフィジックス	放射性医薬品基準ガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム(99mTc)注射液	ガラクトシル人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム(99mTc)	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	共同通信HP 2009年4月28日	WHOは新型インフルエンザのPandemic Alertをフェーズ4に引き上げた。
												新型インフルエンザ(H1N1)レンサ球菌感染	WHO 2009年4月28日 日本化学療法学会第57回総会 201	WHOは新型インフルエンザのPandemic Alertをフェーズ4に引き上げた。 50代後半の男性が右母指のウオノメをカッターで自己切除したところ黒変し、その範囲は急速に拡大。右下肢の腫脹が起り入院。右母指には悪臭と壊疽を伴う重度の蜂巣炎、X線所見で右大腿部にガス像を認めた。Streptococcus dysgalactiae subsp. dysgalactiaeによる初めてのヒト感染例と考えられる。
449	2009/7/28	90318	佐藤製薬株式会社	ヒトチロトロピン アルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清、ウシ血清	ウシ血液	アメリカ、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
450	2009/7/28	90319	佐藤製薬株式会社	ヒトチロトロピン アルファ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ	アメリカ	製造工程	無	無	無			
451	2009/7/28	90320	佐藤製薬株式会社	ヒトチロトロピン アルファ(遺伝子組換え)	トチロトロピンアルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	不明	有効成分	無	無	無			
452	2009/7/28	90321	ゼリア新薬工業	結核菌熱水抽出物	結核菌熱水抽出物	Z-100原液	日本	有効成分	無	無	無			
453	2009/7/28	90322	ゼリア新薬工業	結核菌熱水抽出物	全卵液	全卵液	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	厚生労働省 HP 2009年2月27日	2009年2月27日、愛知県豊橋市のうずら農場においてトリインフルエンザウイルス(H7N6)が検出された。
												鳥インフルエンザ	OIE/World animal health information Vol.22 No.10 2009/03/05	2009年2月27日、愛知県豊橋市のうずら農場においてトリインフルエンザウイルス(H7N6)が検出された。感染農場、周辺地域では家畜の移動制限、殺処分が実施され感染拡大防止措置が取られている。ヒトへの感染は認められていない。感染源は不明。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail20090228-0826	90032に同じ
454	2009/7/29	90323	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ブタ由来酵素(センダイウイルスのポリペプトン)	ブタ脾臓	日本	製造工程	有	無	無	エボラ出血	WHO/WER 2009; 84: 49-56	90001に同じ
												インフルエンザ	Eurosurveillance 2009; 14: 1-2	90001に同じ
455	2009/7/29	90324	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ヒトリンパ芽球細胞株	日本	有効成分	無	無	無			
456	2009/7/29	90325	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
457	2009/7/29	90326	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ウシ乳由来カゼイン(センダイウイルスのポリペプトン)	ウシ乳	中国、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
458	2009/7/29	90327	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ふ化鶏卵(センダイウイルスを増殖)	鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
459	2009/7/29	90328	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	抗IFN- α モノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ	イギリス	製造工程	無	無	無			
460	2009/7/29	90329	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	抗ハムスター胸腺細胞ウサギ抗血清	ウサギ血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
461	2009/7/29	90330	大塚製薬	インターフェロン アルファ (BALL-1)	ハムスター(ヒトリンパ芽球細胞を皮下で増殖)	ハムスター	日本	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
462	2009/7/29	90331	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	パリビズマブ(遺伝子組換え)	-	ドイツ	有効成分	無	無	無			
463	2009/7/29	90332	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	マウスミエローマ細胞	マウス培養細胞株	米国	製造工程	無	無	無			
464	2009/7/29	90333	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	トランスフェリン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
465	2009/7/29	90334	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	ビボプロテイン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
466	2009/7/29	90335	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
467	2009/7/29	90336	アボット・ジャパン	パリビズマブ(遺伝子組換え)	濃縮リビッド	羊毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
468	2009/7/29	90337	日本製薬	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体	血液凝固第Ⅸ因子複合体	人血液	日本	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009 February 17, 2009	90183に同じ
												B型肝炎	Transfusion Med. 2008; 18: 379-381	90151に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CBER 2009年4月30日	90298に同じ
469	2009/7/29	90338	アボット・ジャパン	アダリムマブ(遺伝子組換え)	アダリムマブ(遺伝子組換え)	-	アメリカ、プエルトリコ	有効成分	無	無	無			
470	2009/7/29	90339	アボット・ジャパン	アダリムマブ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	培養細胞株	アメリカ	製造工程	無	無	無			
471	2009/7/29	90340	アボット・ジャパン	アダリムマブ(遺伝子組換え)	Primateone RL (ウシ脾臓及び血液の酵素消化物)	ウシ脾臓及び血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症 (PT)	出典	概要
472	2009/7/29	90341	全業工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペブタン	ウマの脾臓、脛、ウシの心臓、脾臓及びブタのラードウォーターをブタのパンクレアチン及びペプシンで処理したもの	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	WHO 2009年4月29日	WHOは新型インフルエンザのPandemic Alertをフェーズ5に引き上げた。
473	2009/7/29	90342	全業工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	パンクレアチン	ブタの脾臓由来	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	WHO 2009年4月29日	90341に同じ
474	2009/7/29	90343	全業工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタの胃液	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	WHO 2009年4月29日	90341に同じ
475	2009/7/29	90344	全業工業	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ラードウォーター	ブタ	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	WHO 2009年4月29日	90341に同じ
476	2009/7/30	90345	メルクセローノ株式会社	セツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMED-mail20090510.1747	2007年後半におよそ70年ぶりにオーストラリアのHunter Valleyにおいてウシの炭疽のアウトブレイクが発生した。オーストラリアにおいて、洪水により長期間埋もれていた炭疽菌芽胞が姿を現し、農村部で炭疽が再興していると、New South Walesの研究者らが報告した。
477	2009/7/30	90346	メルクセローノ株式会社	セツキシマブ(遺伝子組換え)	マウスハイブリドーマ細胞	マウスハイブリドーマ細胞株	米国	製造工程	無	無	無			
478	2009/7/30	90347	メルクセローノ株式会社	セツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
479	2009/7/30	90348	メルクセローノ株式会社	セツキシマブ(遺伝子組換え)	リポたん白質	ウシ血液	米国	製造工程	有	無	無	結核	ProMED-mail20090215.0644	90234に同じ
												結核	ProMED-mail20081207.0101	90234に同じ
												結核	ProMED-mail20081208.3856	90232に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												結核	ProMED-mail20090423.1536	米国テキサス州西部において乳牛がウシ結核に感染していることが明らかになった。
												狂犬病	ProMED-mail20090215.0644	90232に同じ
												狂犬病	ProMED-mail20090220.0724	90232に同じ
												狂犬病	ProMED-mail20090410.1383	90232に同じ
												狂犬病	ProMED-mail20090418.1470	90232に同じ
												炭疽	ProMED-mail20090510.1747	90345に同じ
480	2009/7/30	90349	ヤンセンファーマ	ムロモナブ-CD3	ムロモナブ-CD3	マウス腹水	不明	有効成分	無	無	無			
481	2009/7/30	90350	ヤンセンファーマ	ムロモナブ-CD3	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ合衆国またはカナダ	製造工程	無	無	無			
482	2009/7/30	90351	ヤンセンファーマ	ムロモナブ-CD3	ウマ血清	ウマ血液	不明	製造工程	無	無	無			
483	2009/7/30	90352	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巢細胞株	該当なし	有効成分	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
484	2009/7/30	90353	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	アプロチニン	ウシ肺	ニュージーランド	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
485	2009/7/30	90354	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	インスリン(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用)	ウシ臓臓	米国	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
486	2009/7/30	90355	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
487	2009/7/30	90356	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用)	ウシ血液	オーストラリア	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
488	2009/7/30	90357	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	培養補助剤(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用-1)	ウシ血液	米国	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
489	2009/7/30	90358	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	培養補助剤(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用-2)	ウシ肝臓	米国又はカナダ	製造工程	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
490	2009/7/30	90359	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有	有	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
491	2009/7/30	90360	バクスター	加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	人血漿	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
492	2009/7/31	90361	アステラス製薬	パミテプラーゼ(遺伝子組換え)	トランスフェリン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMED-mail20090110.0100	ケニアのManyata地区のNjukiiri村で炭疽感染牛の処分を行っていた28歳の男性が炭疽菌感染症状を呈し2009年1月6日にEmbu Provincial 病院へ向かう途中で死亡した。
												炭疽	ProMED-mail20090116.0187	ジンバブエにて2008年11月以降に炭疽により死亡したウシやヤギの肉を食したことにより200人が炭疽に感染し8人が死亡した。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090202.0463	オランダにて2009年1月初旬に、4年間で3例目となるvCJDによる死亡例が報告された。この患者の感染経路は報告されていない。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090307.0953	2009年1月、スペインSantander北部の都市にて、同国で5番目となるvCJDによる死亡例が確認された。
												炭疽	ProMED-mail20090511.1763	南インドのAndhra Pradesh州Visakhapatnamにおいて、過去2カ月間に17例が炭疽により死亡した。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090406.1337	スペインで2009年3月28日、vCJDの研究を専門としている病理医の男性がvCJDの疑いで死亡した。感染経路は不明であるが、業務中に感染したヒト組織の暴露を受けたかどうかについて調査している。
493	2009/7/31	90362	アステラス製薬	バミテプラゼ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMED-mail20090110.0100	90361に同じ
												炭疽	ProMED-mail20090116.0187	90361に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090202.0463	90361に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090307.0953	90361に同じ
												炭疽	ProMED-mail20090511.1763	90361に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail20090406.1337	90361に同じ
494	2009/7/31	90363	アステラス製薬	バミテプラゼ(遺伝子組換え)	CHO細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	-(東京大学医科学研究所から入手した細胞株)	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
495	2009/7/31	90364	フェリング・ファーマ株式会社	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	閉経後婦人尿	アルゼンチン	有効成分	無	有	無			
496	2009/8/6	90365	富士フィルムRIファーマ	ヨウ化血清アルブミン(131I)	ヨウ化人血清アルブミン(131I)	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	CDC/MMWR 2009; 58: 4-7	90188に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												黄熱	ProMED-mail2009040 2.1217	90188に同じ
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90294に同じ
497	2009/8/6	90366	あすか製薬	日局ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国・ブラジル	有効成分	無	無	無			
498	2009/8/11	90367	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ペプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
499	2009/8/11	90368	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	ストレプトコックス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	溶連菌抽出物注射用	-	有効成分	無	無	無			
500	2009/8/11	90369	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無	無	無			
501	2009/8/11	90370	中外製薬	ストレプトコックス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	牛肉	ウシ骨格筋	オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
502	2009/8/11	90371	中外製薬	ストレプトコッカス・ピオゲネス・(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	Bacto Todd Hewitt Broth	ウシ心臓、骨格筋、骨髄、脂肪組織、結合組織、乳、ブタ心臓、膵臓、胃	ウシ心臓(米国)、骨格筋(米国、オーストラリア)、脂肪組織(米国)、骨髄(米国)、結合組織(米国)	製造工程	無	無	無			
503	2009/8/11	90372	中外製薬	エボエチン ベータ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン(BSA)	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
504	2009/8/11	90373	中外製薬	エボエチン ベータ(遺伝子組換え)	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	ブタ膵臓	米国、カナダ、デンマーク、英国、ドイツ、オランダ、ポルトガル、ベルギー、フランス、アイルランド、スペイン、ハンガリー、韓国	製造工程	無	無	無			
505	2009/8/12	90374	大日本住友製薬	酢酸ソマトレリン	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	無	無	無			
506	2009/8/12	90375	興和	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	無	無	無			
507	2009/8/14	90376	アボット・ジャパン	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO/EPR 2009年3月31日	90056に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	90312に同じ
508	2009/8/14	90377	日本生物製剤	ヒト胎盤抽出物	ヒト胎盤抽出物	ヒト胎盤	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	CDC/MMWR 2009; 58: 4-7	90188に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												レンサ球菌感染	CDC/MMWR 2009; 58: 109-112	米国におけるActive Bacterial Core Surveillanceの2006年のデータより、新生児のB群連鎖球菌疾患に関する分析結果。2000～2006年の間に早発性疾患は1199例、遅発性疾患は1005例に発症し、2006年では、早発性疾患179例、遅発性疾患137例の発症が報告された。
												B型肝炎C型肝炎	日本輸血細胞治療学会誌 2009; 55: Y-1-2	2004～2007年の4年間に確認された輸血ウイルス感染症は、HBV50例、HCV3例、HEV4例、ヒトパルボウイルスB19が4例である。輸血細菌感染症はRC-MAPIによるY. enterocolitica感染2例、PCによるS. aureus感染1例であった。
												ウイルス感染	日本輸血細胞治療学会誌 2009; 55: Y-1-3	1985年にBSE、1997年に高病原性トリインフルエンザ(H5N1)、1999年にウエストナイルウイルス、2003年にはSARSが発生。2006年にはチクングニヤウイルスの発生。2007年には、未知の新ウイルス(新規のアレナウイルス)等の存在が明らかとなり、血液を介した感染リスクが存在するか検討されている。
												C型肝炎	日本輸血細胞治療学会誌 2009; 55: O-054	本邦で20プールNAT導入後、NAT陰性献血血液由来の血液製剤からHCV感染が初めて報告された。
												細菌感染	CDC/MMWR 2009; 58: 362-365	Chlamydia trachomatis感染症は米国で最も発症頻度の高いSTDであり、年間280万人が罹患している。2007年には110万人のクラミジア感染症例がCDCに報告され、その半数以上は15～25歳の女性であった。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Health Protection Agency 2009/05/22	90312に同じ
509	2009/8/17	90378	日本ビーシージー製造	精製ツベルクリン	全卵	ニワトリの卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2009; 15: 272-279	2007年のドイツで発生したH5N1ウイルスの家畜農場でのアウトブレイクの起原と、食物連鎖へH5N1ウイルスが侵入した疑いを調査するために、系統学的分析と疫学的分析を実施した。その結果、市販の冷凍貯蔵されたアヒルの肉が原因である可能性が示唆された。アヒルが高病原性H5N1ウイルスに感染しても臨床的に無症候であることが示された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	Arch Virol 2009; 154: 677-681	ブタから分離されたH5N1インフルエンザウイルスの病原性を検討した。ブタ由来H5N1ウイルスは鶏卵胚およびMDCK細胞でよく増殖することが確認された。また、マウスに対する病原性では、ニワトリ由来のH5N1ウイルスに比べて病原性が低い或いは弱毒であることが示された。
510	2009/8/17	90379	日本ビーシージー製造	精製ソベルクリン	乳糖	ウシの乳	オランダ、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルグ	添加物	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	農林水産技術会議事務局研究成果 2009; 468: 77-81	ウシ及びマウスの消化管上皮細胞株を樹立し、濾胞随伴上皮に存在するM細胞のin vitro分化誘導系を開発するなど、経口摂取した異常プリオン蛋白の生体への初期侵入機構の解明を目的とした研究の報告。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	農林水産技術会議事務局研究成果 2009; 468: 81-82	ウシ及びヒツジの回腸と十二指腸に、逆行性のトレーサーを注入して、回腸遠位部から延髄に伸びる交感・副交感神経経路におけるプリオン移行の解析を行い、また、ウシ回腸遠位部の物質の取り込みや神経網について行った研究の報告。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	農林水産技術会議事務局研究成果 2009; 468: 99-103	国内初発のBSEをマウスへ伝達・継代した結果、英国のBSEを伝達した結果と同様の結果が得られ、ウシでの解析結果と一致して、日本初発のBSEが英国のプリオン株と同じである可能性が示唆されたという報告。また、BSE、羊スクレイビーをマウスへ初代伝達した際の病変形成・発症について病理学的に検討を行った研究の報告。
511	2009/8/21	90380	日本製薬	加熱人血漿たん白 人血清アルブミン(5%) 人血清アルブミン(20%) 人血清アルブミン(25%) 乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン トロンビン 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 人免疫グロブリン 乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体	ヘパリン	ブタ腸粘膜	ブラジル	製造工程 添加物 製造工程	無	有	無			
512	2009/8/21	90381	エール薬品株式会社	ダルテパリンナトリウム	血液凝固阻止剤	豚小腸	中華人民共和国	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												エボラ出血	ProMED-mail20090203.0482	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認されている。現在まで抗体陽性者の健康状態は良好であり、過去12ヶ月以内に主だった症状を呈していない。
												エボラ出血	ProMED-mail20090130.0417	フィリピンにおいて1月30日に、新たに4例がEbola-Restonウイルスに感染していたことが判明した。
												エボラ出血	ProMED-mail20090131.0437	90381に同じ
												インフルエンザ	CDC/MMWR 2009; 58: 115-119	米国におけるインフルエンザの活動性に関する報告。2008年12月にサウスダコタにおいてブタインフルエンザA(H1N1)に感染した症例1例(19歳)に関する報告。
												エボラ出血	WHO/WER 2009; 84: 49-56	90001に同じ
												エボラ出血	IDWR 2009 第5週	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認されている。現在まで抗体陽性者の健康状態は良好であり、過去12ヶ月以内に主だった症状を呈していない。
												インフルエンザ	ProMED-mail20090220.0715	スペインにおいて2008年11月、養豚場で働く50歳女性がインフルエンザ様症状を呈した。2009年1月13日国立インフルエンザ研究所より、ブタ由来のインフルエンザA(H1N1)の可能性があると報告された。
												インフルエンザ	CDC Weekly Report/flu summary update 2009 Mar 6	90235に同じ
												インフルエンザ	CCDR Fluwatch 2008-2009 week09	カナダにおける季節性インフルエンザ流行状況報告。米国で、ブタインフルエンザA(H1N1)のヒトへの感染例が1例報告されたことも述べられている。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												エボラ出血	WHO/EPR 2009年3月31日	900561に同じ
												インフルエンザ	CDC/MMWR 2009; 58: 369-374	90282に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58: 1-3	2009/4/17米CDCはカリフォルニア南部の小児2例の熱性呼吸器疾患をブタインフルエンザA(H1N1)感染であると特定した。アマンダジン、リマンダジンに抵抗性があり、過去に報告されていない固有の遺伝子断片の組み合わせが含まれていた。ブタ接触歴は無く感染源は不明。
												新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58: 1-3 (dispatch)	ブタインフルエンザA(H1N1)ウイルスに感染した追加の6症例について。カリフォルニアのサンディエゴで3例、インペリアルで1例、テキサスのグアダルペで2例報告された。これらの患者から分離されたウイルスはメキシコの患者から分離されたウイルスと同じであった。
												新型インフルエンザ(H1N1)	厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡2009年4月26日	メキシコ及び米国におけるブタインフルエンザ事例に対する対応について
												エボラ出血	IDWR 2009 第14週	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認された。2月16日にさらに1例の抗体陽性者が確認された。2008年12月以降141例が抗体検査を受け、6例が陽性となった。6例全員が職業的にブタとの接触があり、感染源と考えられている。また6例全員が健康である。
												新型インフルエンザ(H1N1)	Health Canada news release 2009/04/26	カナダ政府はカナダにおけるブタインフルエンザA(H1N1)のヒト感染を確認した。Nova Scotiaで4例、British Columbiaで2例であり、米国及びメキシコのブタインフルエンザA(H1N1)と同一株であった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												新型インフルエンザ(H1N1)	IDWR 2009第16週	2009年4月29日現在、9カ国が合計148例のブタインフルエンザA/H1N1感染を公式に報告している。米国では91例の確定症例を報告しており、1名の死亡者がいる。メキシコは7例の死亡例を含む26例の確定症例を報告している。他、オーストリア(1例)、カナダ(13例)、ドイツ(3例)、イスラエル(2例)、ニュージーランド(3例)、スペイン(4例)、英国(5例)である。
												ブルセラ症	CDC/MMWR 2009: 58: 618-621	2008年5月及び7月に米国South Carolina及びPennsylvaniaからブタの狩猟に関連するブルセラ症症例が2例報告され、その後の調査で2例はB. Suisへの感染によるブルセラ症であること、また、うち1例の兄弟もブルセラ症の可能性があるとされた。上記2例は暴露後4~6か月症状がなかった。
												ブルセラ症	ProMED-mail20090701.2380	ロシアのZameletenovka州、LyubinskiyとSherbakulskiyの2地方で、ヒツジ、ウシ、ブタにおけるブルセラ症が発見され、それらの動物と接触した可能性のある300例が検査を受け、39例がブルセラ症と診断された。
												新型インフルエンザ(H1N1)	ProMED-mail20090723.2603	カナダCFIAの検査員2名が、2009年4月下旬にAlbertaのブタにおけるインフルエンザアウトブレイクについて調査中にブタインフルエンザA/H1N1に感染したことが発覚した。カナダにおける最初の新型インフルエンザ感染例である。
513	2009/8/21	90382	第一三共株式会社	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	フィブリノリジン	牛の血清	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
514	2009/8/21	90383	第一三共株式会社	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	デオキシリボヌクレアーゼ	牛の臓腑	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
515	2009/8/21	90384	旭化成ファーマ	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	結核	Northland Northern Advocate 2009/07/09	ニュージーランドにおいて、ウシ結核菌に感染したウシ(1頭)が発見され、感染拡大防止のため、感染牛は屠殺処分され、当該牧場の家畜に移動制限が行われた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正措置	感染症(PT)	出典	概要
516	2009/8/21	90385	旭化成ファーマ	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	ヒト成人肺組織及びヒトさい帯内皮細胞由来cDNAを組み込んだチャイニーズハムスター卵単細胞	米国	有効成分	無	無	無			
517	2009/8/21	90386	旭化成ファーマ	トロンボモデュリンアルファ(遺伝子組換え)	抗トロンボモデュリンアルファマウスモノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ細胞をハウス腹腔内に接種して得られた腹水	米国	製造工程	無	無	無			
518	2009/8/24	90387	ノボルディスクファーマ	エプタゴク アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ブタ膵臓由来トリプシン	ブタ膵臓(抽出物)	不明	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009. 58: 1-3	90381に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CIDRAP News 2009/04/24	2009年4月24日、CDCはメキシコでの致死的な呼吸器疾患発症例から分離されたウイルスは米国の患者のブタインフルエンザA/H1N1株と一致したと発表した。米国での感染例は現在8例である。メキシコ政府の公式発表では、メキシココンティエーにおいて854例以上の肺炎患者が発生し、そのうち59例が死亡している。
519	2009/8/24	90388	ノボルディスクファーマ	エプタゴク アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタゴクアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタゴクアルファ(活性型)(遺伝子組換え)	不明	有効成分	無	有	無			
520	2009/8/24	90389	ノボルディスクファーマ	エプタゴク アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、米国及びカナダ	製造工程	無	有	無			
521	2009/8/24	90390	ノボルディスクファーマ	エプタゴク アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ウシ新生仔血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	有	無			
522	2009/8/24	90391	CSLベーリンゲ	人血清アルブミン破傷風抗毒素フィブリノゲン加第XIII因子乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	無	有	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症 (PT)	出典	概要
523	2009/8/24	90392	CSL ベーリン グ	人C1-インアクチベーター	人C1-インアクチベーター	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	無	無	バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												インフルエンザ	FDA/CBER 2009年5月7日	90298に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion; 49(5): 977-984	90298に同じ
524	2009/8/25	90393	味の素	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	エボラ出血	Reuters (January 23, 2009)	90299に同じ
												エボラ出血	WHO (2009年2月3日)	90019に同じ
												新型インフルエンザ	WHO/EPR 2009年4月24日, 2009年4月27日 WHO/Media centre 2009年4月27日	90299に同じ
525	2009/8/26	90394	シェリング・プラウ	インターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有	無	無	ウエストナイルウイルス	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1747-1749	米国カリフォルニア州カーン郡ベーカーズフィールドにおける2007年夏のWNV確定症例は140例で、2004-2006年に比べて205-280%の増加が認められた。この増加には、住宅ローン滞納により放置された住宅のプールが関係している。
												デング熱	International Herald Tribune 2009/01/11	ブラジル当局は、リオデジャネイロにおける2008年のデング熱による死亡例は106例で、2007年の27例比べて4倍であり、デング熱に罹患者数についても2007年の2.5万人に比べ、2008年は12.7万人であると述べている。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
													Eurosurveillance 2009; 14: 19091	チェコ共和国PHPAによると、2008年にA型肝炎確定症例が1616例報告されたが、これは2003～2007年までの年間平均報告数153例(70～322例)と比べて10.6倍であった。この感染拡大は、初期には薬物静注濫用者と関係しており、約1/4の症例はヒト-ヒト感染によるものと考えられたが、年の後半では恐らく長期間に亘るA型肝炎罹患率の低下で感受性の増大した一般住民において拡大したと考えられた。
												ウイルス感染	ProMED-mail20090402.1272	90188に同じ
526	2009/8/26	90395	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第Ⅷ因子	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMED-mail20090129.0400	90003に同じ
												ウイルス感染	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
												マラリア	CDC/MMWR 2009; 58: 229-2	90123に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												リケッチア症	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMWR 2009; 58: 1-3	90312に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	厚生労働省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009年5月16日	900295に同じ
527	2009/8/26	90396	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン	初代腎臓培養細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
528	2009/8/26	90397	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ラクトアルブミン	ウシ乳	オーストラリア、米国、ニュージーランド、カナダ	製造工程	無	無	無			
529	2009/8/26	90398	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	血清	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
530	2009/8/26	90399	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	筋アデニル酸	ウマ肉	米国	製造工程 添加物 製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
531	2009/8/26	90400	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	エリスロマイシンラクチビオン酸塩	ウシ乳	米国、カナダ、オランダ、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
532	2009/8/26	90401	シェリング・プラウ	ダナバロイドナトリウム	ダナバロイドナトリウム	ブタ小腸粘膜抽出物	ベルギー、ドイツ、フランス、スペイン、オーストリア、オランダ	有効成分	有	無	無	エボラ出血	WHO Disease Outbreak News 2009年3月31日	90296に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CDC 2009/06/26 Novel H1N1 Flu Situation Update	2009年6月25日までに米国で確認された新型インフルエンザA/H1N1感染確定例及び可能性例は27,717例であり、死亡例は127例である。
533	2009/8/26	90402	シェリング・プラウ	ヒト絨毛性腺刺激ホルモン(日局)	ヒト絨毛性腺刺激ホルモン(日局)	妊婦尿	ブラジル	有効成分	有	無	無	デング熱	International Herald Tribune 2009/01/11	90394に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090402.1272	90188に同じ
												デング熱	ProMED-mail20090608.2121	2009年の1月から5月22日までの、ブラジルバイーア州における古典的デング熱症例数は82402例に達し、2008年同時期(28432例)と比べて220%増加している。確定死亡例は55例であった。
												デング熱	ProMED-mail20090622.2286	ブラジルのエスピリト・サント州保健当局は、2009年は6月1日までにデング熱症例数が43536例を記録したと発表した。1日当たり約288例が報告されていることになる。
												新型インフルエンザ(H1N1)	WHO Disease Outbreak News 2009年6月24日	2009年4月24日以降、米国及び他の国々における新型インフルエンザA/H1N1感染症例は増加し続け、6月24日現在WHOに報告された確定症例数は累計55867例(死亡238例)である。米国は21449例(死亡87例)、メキシコは7847例(死亡115例)、ブラジルは334例(死亡0例)。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
534	2009/8/26	90403	ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	人尿	中国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet Neurology 2009; 8: 57-66	90141に同じ
												コクシジオイデス症	CDC/MMWR 2009; 58: 105-109	90141に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96: 270	90177に同じ
												細菌感染	日本細菌学会第82回総会 P2-182	90112に同じ
												インフルエンザ	MMWR 2009; 58: 1-3	90312に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	FDA/CBER 2009年4月30日	90312に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	Science 2009; 10.1126/SCIENCE.1176062	90312に同じ
												リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009年4月23~24日	90312に同じ
												ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360: 2099-2107	90312に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Health Protection Agency 2009/05/22	90312に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	MMRW 2009; 58: 521-524	90312に同じ
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90294に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009/06/05	血友病患者の脾臓中に異常プリオン蛋白質が発見されたことを受け、CJD事故委員会の要請により「vCJD Risk Assessment Calculations for a Patient with Multiple Routes of Exposure」報告書がDepartment of Healthによって作成された。感染可能性のある種々の経路を設定し、それぞれの相対的な感染確率を検討した報告である。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA TSE advisory committee 2009/06/16	英国でvCJDに関連した凝固因子製剤を11年前に投与された血友病患者のvCJD感染の報告を受けて、米国におけるリスク管理戦略を再評価した。その結果は、米国で承認されている第Ⅷ因子製剤からのvCJD感染のリスクは極めて低いと考えられるが断言はできない、という従来と同様の評価である。
												アメリカ・トリパノソーマ症	FDA Guidance for Industry(draft) "Use of Serological Tests to Reduce the Risk of Transmission of Trypanosoma cruzi Infection in	Trypanosoma cruzi抗体検出用のELISA検査システムがCBERにより許可されたことをうけ、米国において、全血、血液成分及びHCT/Psにおけるトリパノソーマ症伝播のリスク低減のためのドナースクリーニングについて、FDAよりドラフトガイダンスが公表された。最終版発表後1年以内にこのガイダンスに適合することが推奨されることとなる。
535	2009/8/27	90404	バイエル薬品	アプロチニン製剤	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J. Hosp. Infect. 2009; 72: 65-70	90145に同じ
536	2009/8/27	90405	日本ケミカルリサーチ	注射用ミリモスチム	ミリモスチム	ヒト尿	中国、台湾	有効成分	有	無	無	コレラ	J Med Microbiol 2009; 58: 234-238	2007年8～9月に、インド東部のオリッサでコレラが大流行した。流行地域で収集された糞便検体からEl Tor型の01コレラ菌が単離され、コレラ毒素Bサブユニットの遺伝子(ctxB)解析の結果、致死性の高いclassical型のコレラ菌のctxBと同一のアミノ酸配列になっていることが確認された。
												レンサ球菌感染	日本感染症学会総会学術集会 第83回 O-173	90291に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
537	2009/8/27	90406	日本ケミカルリサーチ	注射用ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物	有	無	無	インフルエンザ	CDC/MMWR 2009; 58: 1-3	90381に同じ
												新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 58 (dispatch) 2009/4/30	2009年3月から4月上旬にかけてメキシコで呼吸器疾患のアウトブレイクが発生した。3月1日から4月30日までに合計1918例の重症呼吸器疾患症例が報告され、うち286例がインフルエンザA陽性、97例がRT-PCRにより新型インフルエンザA/H1N1と確定された。死亡例は合計84例が報告された。このインフルエンザウイルスはカリフォルニアの小児患者2例から同定されたウイルスと同一の株であることが判明した。
												新型インフルエンザ(H1N1)	IBTimes 2009/05/09	新型インフルエンザA/H1N1感染例が国内で初めて確認された。米デトロイト発成田行きの飛行機に搭乗しており、帰国時に発熱等を呈していたため簡易検査を行い、A型インフルエンザ陽性反応が出たためRT-PCR検査を実施し、新型インフルエンザA/H1N1陽性が確認された。
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90294に同じ
538	2009/8/27	90407	川崎製薬	ヒト絨毛性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			
539	2009/8/28	90408	バクスター	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	ルリオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞株	-	有効成分	無	無	無			